

# ハ乙女

## 祝 令和2年南砺市成人式

### 成人 おめでとうございます



### 子年をむかえて

南山見地域づくり協議会会長 碓井好彦

明けましておめでとうございます。  
皆さまには、ご家族おそろいで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年四月には、地区の公民館、社会福祉協議会、自治振興会等を統合して、小規模多機能自治組織としての南山見地域づくり協議会が設立され、皆さまから温かいご支援ご協力を頂きながら歩んでまいりました。四つの新部会では、過日の住民アンケートの集計結果を受けて、事業内容の見直し、工夫改善に努めております。例えば、学習・スポーツ部会では、例年お盆に実施していたソフトバレーボール大会を従来のビーチボール大会に合体移行したり、地区体育祭の種目ごとの年齢制限の枠を大幅に緩めたりするなどの改善を図ってまいりました。また、まちづくり部会では、ふるさとの歴史文化調査委員会を立ち上げ、五年後の地域誌発刊を目指して動き出すなど、新しい動きが出てまいりました。これからも一層の工夫改善に取り組み南山見地区の一層の発展につなげていきたいと思っております。

今年、子年。子年には、「すべての始まりと未来への可能性が秘められている」そうで、子年を象徴する動物「ねずみ」はたくさんの子供を産むことから「子孫繁栄」の象徴でもあるそうです。十二支の最初の子年。皆さま一人ひとりに大きな発展・繁栄の良き年であることを願うものです。

百年の帯戸はなやぐ餅の花

富田みゆき





### 新年を迎えて

### 新しい年を迎えて思うこと



直 江 泰 介  
(平成20年生)

僕は、今年小学校の最高学年になります。下級生のお手本になる行動をし、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。特に習い事では、ピアノと将棋を頑張りたいです。ピアノのコンクールや発表会で、100%出し切れるように、たくさん練習して上手に弾けるようになりたいです。

将棋には大会があります。いっぱい勝てるように、詰将棋や対局を毎日欠かさず続けて力をつけたいです。

中学生になると忙しくなるので、習い事をする時間が減ります。一生懸命できる最後の年です。悔いの残らないよう、いい年にしたいです。

### 今年の目標



前 田 琴 々 美  
(平成20年生)

私は、今年六年生になります。一年生から続けてきたサッカーをがんばり

たいです。理由は、最高学年として下級生に教えたり、自分も上手くなれるように練習をたくさんしていきたいからです。その他に六年生最後の運動会では、みんなと力を合わせてがんばって、自分の得意な競技では全て一位になり、団で優勝したいと思いました。今年から妹が一年生になります。勉強で分からないことがあったら教えてあげたり、こまったことがあったら、助けてあげたりしたいと思いました。今年一年楽しく健康に過ごしていきたいです。

### これから



前 川 創 星  
(平成8年生)

学生から社会の一員となり、早いもので六年目を向かえる今年、私は二十四歳となります。前の子年からの十二年間を振り返れば、数々の事柄が駆け抜け過ぎ去って行ったように思います。特に社会人としてのこの六年間は、それが顕著でした。

次の子年までの十二年間も、ものの善悪に関わらず、様々な物事に携わっていくこととなるでしょうが、時の流れの速さに置いていかれる事のないよう、自身に起こる変化を楽しんでいきたいと思っています。



### 新たな節目に



高 橋 悠 太  
(昭和59年生)

四度目の子年を迎えました。この十二年間を振り返りますと、結婚し、新しい場所で暮らし始め、新しい仕事を立ち上げ、子どもが生まれ...と、大きな変化がたくさんありましたので、「あつという間」というよりは、実に長い年月であったように思われます。そのような日々を支えていただいた、家族やまわりの皆さまに感謝を申し上げます。

この子年を新たな節目に、さらに十二年後の自分が、今の自分にも想像できないくらい楽しんでいることを期待し、これから先もなるべく濃密に、そして健康にすごしていきたいと思っています。

### 二〇二〇年の目標



荒 井 加 奈  
(昭和59年生)

今年は一〇二〇年東京オリンピックが開催されます。

私は二人の子供がいますが、結婚する前から主人の影響とダイエット目的でマラソンをしていました。しかし、妊娠・出産を機に走る事が遠のいて行きました。

一昨年、子供達が通う保育園のお母さんが、「一緒に出ん？」とマラソン大会に誘われ、再び走るきっかけが出来ました。仕事と子育てをしながらで

すと、なかなか練習する時間はありませんが、合い間を見つけて走っています。大会の出場の最長距離はハーフマラソンなので、今年がオリンピッククイヤーという事もあり、フルマラソンに挑戦したいなと思っています。

母になって、またマラソンに打ち込むなんて想像もしていませんでしたが、御縁あって走るきっかけを作ってくれた方、協力してくれる家族には感謝しています。今ではママさんランナーが増えて、一緒に大会に出場してとても楽しく過ごしています。子育て・仕事・マラソンと充実した一年を過ごしたいと思っています。

### 次の十二年に向けて



岡 本 克 己  
(昭和47年生)

早いもので五回目の年男を迎えました。四十八歳といえば、一般的には人生の中間地点を過ぎて復路に入っているという所ですが、往路での自分が人に誘われるだけの何かを備えられたかと言われれば、諸先輩方の足元にも及んでいないというのが実感です。

昨年は町内会長代表を拝命し、発足初年度の南山見地域づくり協議会に参加することができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

この経験を基に、これからの十二年間は報恩謝徳(ほうおんしゃとく)の精神を忘れず、家庭・職場・そして地域でもより貢献できるように、自分を高めていきたいと思っています。



### 目標をもって



高堂 清美  
(昭和47年生)

令和の新しい時代に、節目の年を迎えることができました。南山見へ転居してきた頃に誕生した息子も成人し、本日に月日の流れは早いものだと感じています。仕事や子育てに忙しい日々を送る中、家のことは父母に任せっきりで、父母にはとても感謝しています。

昨年、職場の異動により仕事内容や生活リズムが一変し、ますます多忙となる中、体力の衰えを感じることも出てきました。折しも今年も東京オリンピックが開催されます。選手の応援をするだけでなく、自分自身でも「週二回の運動をする」という目標を掲げ、継続的な運動を心がけ、張りのある生活を送ってまいります。

### 新たなスタート



池田 浩吉  
(昭和35年生)

成人式の頃はまだまだ若いと思いき、厄年の頃は「いやいや」これからと思いき

み、ここ数年疲れやすいなあと感じていたら、気が付けばとうとう還暦を迎える。月日の流れは本当に早い。

私事だが、学校卒業と同時に県外に就職し、数回の転勤をし、仕事の内容も変わったが、遂に定年の年を迎えた。これを機に生まれ育った南砺の地に帰ることにした。

これからは、今まで出来なかった新しい事にチャレンジしたいし、これまでに以上に地域に関わっていかなければならないと思う。分からないことだらけだが、周囲の皆さんに教えてもらいながら、営農や地域活動を通じて有意義な第二の人生をスタートさせたいと思う。

### 人生豊かに



山田 修弘  
(昭和35年生)

昨年、井波小学校が統合して五十周年を迎えた。統合当時、私は南山見小学校四年生で、二学期から新校舎に通い始めた。その同級生達と今年の元日は、還暦のお参りをした。二月には高校のクラス会。五月には伊勢神宮参拝も予定している。久しぶりに会う同級生と昔話に花を咲かせた。腹が出てきた者、頭が寂しくなった者など見た目は少し変わったが、子どもの時と同じように話ができるのは不思議なものだ。

昨年還暦を迎えた方々に、保険会社がアンケートを実施した。その結果、平均して「気持ち」は四十六歳、「体

力」は五十四歳相当と感じている結果が出たそうである。私同様、年をとったという実感が全く湧かないのである。とは言え、名実ともに爺となった級友との話題はもっぱら孫の話である。

今年、仕事の環境が大きく変わる。定年も目前に迫ってきている。しかし、日本男性の健康寿命の平均は七十二歳である。まだまだこれからという事であろうか。周囲の環境は大きく変わっていくと思うが、今後も新しい発見に感動し、豊かな人生になることを期待したい。

### 「自分史」に取り組む



松田 博志  
(昭和23年生)

冬仕事として、取り組んでいるのがアルバムの整理である。山積みされたアルバムの他に、段ボール一杯分の写真が出てきた。特に思い出に残る写真を選び、デジタル保存して「自分史」を編纂する。他は処分する事になるが一向に進まない。

一枚一枚手にしていくと、自分が歩んできた人生が見えてくる。辛さ・悲しさ・喜びありの我が人生であるが、家族と共に一生懸命に乗り越えてきたからこそ、今日の幸せがある。

次の子年には、子供や孫、ひ孫に囲まれた穏やかな笑顔の写真を「自分史」に挿入したい……と夢描く。

### 十二年後の私に向けて



澤田 妙子  
(昭和23年生)

今年も一回り年上の友人から年賀状が届きました。『もう頑張らずに生きています』と、いろんな事に頑張っていて私の憧れの人でした。十二年後には『頑張らずに生きています』と言えるように健康寿命を維持し、悔いのない年のとり方をしていきたいものです。幸い回りの友達にもめぐまれ、主人の理解もあり(かっけてにそう思っています)好きな様に旅行に行っています。また、畑仕事を楽しみ、終活をしなればと言ってもまったく手もつけず、孫達の『すごい！』に、私の株も上がり、気持ちよくチューをしてしまいます。自由気ままに主人と二人三脚で暮らしていければと思っています。

### 健康と感謝



谷田 美知子  
(昭和11年生)

令和になり初めての子年です。まだ実感が沸きませんが、今ではひ孫に元気をもらって軽スポーツなどに参加しています。

これからは、焦らずありのまま前進するのみです。健康で皆様と出来る限り接して行きたいと思っています。

自己川柳、健康で 親に感謝 出来る歳!!

### 令和二年新年の集いで決意したこと 山本義秀

積雪が無く、日が差す一月五日に恒例の「新年の集い」が開催されました。富田豊志さんの進行で、新春を祝う詩吟を小橋外喜雄さんが「初春令和」。引続き前田由美子さんが「梅一輪」を朗々と吟じられ、会場の拍手喝采で始まりました。

碓井会長の開会の挨拶では、四部会の活動紹介、災害の多い年での初の避難所開設が、前々から備品室を整理していたので、二十分の短時間で出来たこと。防犯対策の感謝状が贈られること等、報告がありました。

山田修弘井波行政センター長からは、猿、猪の出没やトンコレラの発生等、災害の多い年であったこと。七月に統合庁舎が開庁すること等。才川議員からは井波木彫刻キャンプやシアターオリピックなどで南砺市をアピールできた年。東海北陸自動車道の全線四車線化が決まったこと。市の人口減少対策、公共施設の削減、通年議会の導入検討など変革の時代に取り組む決意を表された。

乾杯後、各テーブルで賑やかに初春の挨拶、談笑。私自身、その中に身を置いて、今年も「頑張らなければ」と決意を新たにしたい時でした。才川議員の乾杯の挨拶の中に「チャレンジ、チャンス、チェンジ」の言葉があり、私も心掛けてはいるが、今年は今一步前進させます。



### ふるさとの歴史文化調査委員会

#### ご協力をお願いします ～地域誌づくり～

ふるさとの歴史文化調査委員会委員長 富田利通

本委員会は、①南山見の地勢と成り立ち、②自治振興のあゆみ、③産業の変遷と生活環境の変化、④教育と人材育成、⑤寺社・史跡と歳時記、⑥巻末資料・写真全般の六部会から構成されています。

これまで各部会では数回の会合をもち、項立てを検討し、過去の出版物や調査活動等、元となる材料集め・資料収集を行ってきています。なかなか思うようなものには出会えず難儀してはいますが、それぞれ楽しく根気強く取り組んでいただいています。地域の皆様には、写真・地図や文書、語り伝え等、関係する史資料をご存じでしたら、ご協力をお願い申し上げます。

新委員の紹介：前川真介さんに加わっていただきました。

### 高齢者学級日帰り研修会

10月19日に金沢方面への日帰りバス研修会を行い、あいにくの雨模様でしたが40名の参加をいただきました。



金沢城公園、玉泉院丸庭園の見学では加賀百万石の栄華を感じ取ることができました。大野からくり記念館では、からくり人形実演や遊具を楽しみ、昼食はヤマト醤油味噌での玄米や糍を使った「発酵美人ランチ」を堪能し、少し美人になったかも??

最後は小雨の中、西茶屋街を散策、情緒あふれる雰囲気を楽しみました。普段の金沢観光とは違うルートが体験できてとても有意義な研修会でした。



(老人クラブ 蓮田松夫)

### 100歳 おめでとございます。

今里地区の箭原きくさんが10月22日に満100歳の誕生日を迎えられました。(大正8年生まれ) おめでとうございます。

南山見老人クラブ連合会の小橋昭夫会長がご自宅を訪問し、記念品の胡蝶蘭を贈呈させていただきました。きくさんは刺身や寿司が好きで週2回のデイサービスの風呂が楽しみとのこと。ご家族に囲まれ、記念すべき節目を迎えられました。これからもお元気でお過ごしください。



(老人クラブ 蓮田松夫)



第42回 南山見地区

# 八乙女文化祭

11月10日(日)

八乙女文化祭が開催されました。

好天に恵まれたこの日、地区内外から多数の方が交流センター、体育館に来場されました。オープニングステージでは、太陽(ひざし)一座による歌謡ショーで盛り上げて頂きました。続いてのステージ発表では、にじいろ保育園児による歌とおどり、ピアノ教室受講児童による演奏、各地区児童クラブによる歌と活動発表、ボランティアグループ員による「南京玉すだれ」、趣味の踊りなど、日頃の練習の成果を十二分に発揮して頂きました。午後からも、大正琴の演奏や、詩吟、ハーモニカの演奏や寸劇と合唱、数々の民謡等々、野菜の重量当てクイズ発表を挟んで多彩なステージで楽しい時間をすごせました。



館内では、各種団体の活動報告や作品の展示、農産物の品評会、女性部による食堂やお寿司、お餅の販売、また茶道クラブによる「お茶席」、各団体によるビール、もつ煮、焼きそば、フランクフルト、肉まん、ポップコーン、ケーキにお菓子等々、模擬店も大盛況。食べて、飲んで、お腹も大満足の日でした。これからも地域の方々や、各団体の皆様と共に、伝統あるこの八乙女文化祭を盛り上げつつ、もっともっと長く続いていくように協力していきたいと改めて思いました。

(成年部 山本大輔)



## 八乙女セミナー

### 大正琴クラブ

地区文化祭では、午後一番に大正琴の演奏をしました。今年の曲目は、『学園広場』『知床旅情』『恋の季節』の3曲です。4部に分かれての合奏をしました。一人で演奏すれば100点ですが、皆さんと合わせるのなかなか難しく…。でも今回は大成功(?)みんな、笑顔で舞台を降りました。



皆さん、いかがでしたか!!大正琴は誰でもすぐに弾けますよ。楽譜は数字の1.2.3.と書いてあり、楽器にも1.2.3.と書かれていますので楽々と弾くことができます。だから一人だと100点、みんなと合わせることだけが難しいのです。

人生100歳時代といわれます。どなたでも大歓迎、いっしょに大正琴始めてみませんか。楽しいですよ、待っています。

(大正琴クラブ 谷川澄江)



10/12<sup>土</sup>

### 避難所開設

去る十月十二日(土)台風十九号が猛威を振るい、南山見地区にも「避難準備・高齢者等避難開始」が発令され避難所を開設しました。午後三時から受け入れ態勢を取り防災会役員、市役所職員一名が待機し一名の避難者を受け入れました。翌朝六時五十分には大きな被害もなく閉所することができました。迅速な対応を取っていただいた防災会役員に感謝いたします。

今回初めて避難所を開設して、防災会全体で状況の把握ができていたか、そのための連絡網の整備や町内会レベルでの避難所の開設の判断基準など課題、問題点も多いことを改めて痛感しました。今後の課題として解決していかねばならないと思います。



10/27<sup>日</sup>

### 防災訓練

昨年は台風十五号をはじめ大雨、防風など国内いたる所で大きな災害が発生し、皆さんも防災意識が高かった年ではないかと思えます。富山は安全な無災害地域だという安心感も多くの方が持つておられるかと思いますが、近年の降雨量は想定外の多さです。是非、危機意識を持っていただき、早期の避難行動を取っていただきたいと思えます。

そんな中、十月二十七日(日)当地区の避難訓練を行いました。総勢百七十名の参加をいただきありがとうございました。前回同様地震を想定し、交流センターに避難所を開設しました。また、炊き出し訓練も行い、非常時に備える活動となりました。毎回同じ内容ではありますが、ドリル訓練で体に染みつくまで参加していただきたいと思えます。

令和元年、千葉や長野の被災地の状況を記憶に留めておき、「他山の石」として自分の身は自分で守るよう、心から願っております。

(南山見防災会本部長 富田豊志)



10/29<sup>火</sup>

### 『カギかけ誓い署名簿』南砺警察署井波幹部交番所へ提出

南山見地区防犯組合では、昨年続き「カギかけ防犯キャンペーン」事業として、カギかけ意識の高揚を図り、盗難犯罪被害減少を目的とする『カギかけの誓い』の署名活動を実施。地区内の小学生以上四百九十四名の皆さんから署名が集まりました。署名簿は井波幹部交番所の田島啓祐所長にしっかりと手渡し、カギかけの大切さを再認識する機会となりました。

(地区防犯組合長 山本孝夫)



1/30<sup>木</sup>

### 感謝状の授与式

一月三十日(木)、福光の南砺警察署三階講堂で行われた授与式で、南砺警察署長より南山見地区防犯組合へ感謝状が授与されました。青パト出動やカギかけの誓い署名などの活動を通し、地域の安全安心づくりに貢献したことが評価されたものです。

(地区防犯組合長 山本孝夫)





南山見の商工業の歴史 シリーズ その2

宮川造園

昭和三十年代の後半に金沢から庭師がやってきて、瑞泉寺前にある八百屋（今の川合食料品店）を宿にして綿貫さんの庭をはじめ、井波の町中の庭を多く造っていった。その庭師の下に付いて庭造りを習った一人が先代の文作だった。庭仕事を習う前は鳶の仕事をしていたようだ。

その後、独立して造園屋を始めた。私が父の文作と共に働き始めたのは昭和四十九年頃からだ。昭和四十年代以降は日本庭園ブームがあつて沢山の個人庭園を造った。最初の頃はクレーンなどの重機はなく、石などの重量物を運んだり捉えたりするのは、もっぱら「三つ又」や「ころ」や「そり」を使っていた。今は本当に楽になった。



昭和50年代 三清了泉寺庭作り

旧井波町や庄川町の公共の仕事も多くやらせてもらった。金沢に縁も出来たことから、かつては個人邸の作庭、そして兼六園の剪定や雪吊りもしていた。兼六園の雪吊りは、当時電柱用の丸太を持っていて人力で立てていた。今とはやり方が違うが、藁縄は今と同じように百本から百五十本下げている。今は庭造りや石積み、植樹などの仕事は少なくなり、剪定や伐採などの庭管理の仕事がメインになっている。今の時代に合う庭造りも大切だが、将来的には伝統的な日本庭園も見直されるものと思っている。

（宮川造園 宮川文雄）



昭和50年頃 井波小学校前庭作り

花壇づくり文化祭展示作品づくり

昨年の十月二十七日（日）、花壇づくりと文化祭展示作品づくりを南山見交流センターで行いました。

まず、四年生から六年生の児童たちが、地域に住む『花と緑の銀行』のグリーンキーパーの皆さんの指導を頂きながら、花壇にチューリップ等の球根を手際よく植えました。

その後、児童たちは、八乙女文化祭展示作品づくりとして、貯金箱づくりに取り組みました。色とりどりに、貯金箱に色を塗り、児童たちの個性あふれる素敵な作品ができあがりました。各家庭に持ち帰られてからも、お気に入りの貯金箱として愛用されていることと察します。

（児童クラブ 前田洋一）



クリスマス会

昨年の十二月八日（日）に、毎年恒例のクリスマス会を南山見交流センターで行いました。当日は晴天に恵まれて、約三十名の児童たちが集まりました。ツリーに飾り付けをしたり、みんなでケーキを食べたりしました。

ゲーム大会では、六種類のゲームをして得点を競い合い、プレゼントをもらって楽しい時間をすごしました。今年もホールは児童たちの熱気に包まれ、あつという間の一瞬でした。

（児童クラブ 前田洋一）

（児童クラブ 前田洋一）



# 成人をお迎える皆さんおめでとうございます

1月12日(日)

井波総合文化センターにおいて、令和最初の井波地域成人式が行われました。

南山見地区からは十一名の新成人が出席し、旧友や小・中学校の恩師たちとの再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていきました。

式典では、新成人を代表して横江翔太さん（川原崎）が記念品の目録を受領され、亀田朋佳さん（清玄寺）の力強い交通安全宣言で式は締めくくられました。

また、新成人の集いでは、実行委員長の前川翔さん（院瀬見）を中心として企画され、山田綾華さん（院瀬見）が「二十歳の抱負」を発表されました。（事務局）



## はたちの抱負



山田綾華  
(院瀬見)

私は現在、羽田空港でグラウンドスタッフとして働いています。専門学校に在籍しながらインターンをし、一足先に社会人になりました。実際に働いてみると社会人としての自覚を持ち、自身自身の行動ひとつひとつに気をつけなければならぬと思いました。私の言動や行動ひとつが会社のイメージに繋がるため、常に見られているという意識を持ちながら日々過ごしています。

また、働いている中でチームワークがとても大切だと感じています。飛行機一便を運航するには、全ての業務がスムーズに行わなければなりません。各部署との連携や先輩方や同期とのコミュニケーションが必要不可欠です。私は、すれ違う方には必ず挨拶をし、イレギュラー時には迅速な情報の共有を心がけています。そうすることでバトンをつなげ、良いチームワークが作れると思っています。

また、社会人になると同時に一人暮らしをはじめ、両親の有り難みを改めて感じる事ができました。今までは当たり前前にもしてもらってきたことを自分でしなければなくなり、その大変さに気づくことができました。今まで育ててくださった家族、友人、先生方に感謝をし、少しでも恩返しができるよう頑張りたいと思います。

## 南山見地域づくり協議会のホームページが開設されました。

ぜひご覧ください。 <https://minamiyamami-kc.7104.info>



### 編集後記

今年の冬は、「これまで経験したことのない異常気象」で、雪のない日が続きました。生活するには大変ありがたいことですが、スポーツクラブや学校のスキー教室が次々と中止となり、指導するのを楽しみにしていた私にとっては寂しい限りです。一時は、「とやま・なんと団体」も開催が危ぶまれましたが、幸いにも無事開催されました。ここ数年続いている地球温暖化による異常気象が、「異常」ではなく「通常」になってしまおうのでしょうか。とても心配です。令和二年が災害のない平和な一年になりますよう祈念致しますと共に、今年も会報のご愛読をお願い申し上げます。

結びになります。昭和六十三年一月発行の第三十一号より三十余年にわたって表紙に掲載してきました、短歌・俳句を本号をもって終了させていただきます。寄稿いただいた皆様ありがとうございました。 (編集委員長)

## 行事予定

2月9日(日) 午前9時より  
第31回 南山見地区  
「三世代交流の集い」

2月12日(水) 午後7時より  
八乙女講座

「南砺市が目指す小中連携・小中一貫教育」  
～南砺つばき学舎の目指すもの～  
(井口義務教育学校)

講師 南砺市教育委員会  
教育部長 村上紀道氏  
教育総務課長 氏家智伸氏

## 南山見人口

令和元年12月31日現在  
( )は昨年度 住民基本台帳より  
人口は、マーシ園の56名を含みます。

男	475名 ( 484名)
女	505名 ( 525名)
計	980名 ( 1,009名)
世帯数	265戸 ( 267戸)